

# プレバソン®フロアブル5

■種類名: クロラントラニプロール水和剤

■有効成分: クロラントラニプロール 5.0%

■登録番号: 第22464号(デュポン登録)

■毒性: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■登録初年: 2009.09.28

■性状: 淡褐色水和性粘稠懸濁液体

■有効年限: 4年

■包装: 500ml×20本、250ml×40本

1.5L×12本、2.5L×4缶

プレバソン®は米国デュポン社の登録商標です。

## 【特長】

- 新規成分クロラントラニプロール含有の野菜・畑作用の殺虫剤。
- チョウ目、ハエ目害虫に高い効果を発揮する。また、散布だけでなく、灌注処理においても卓効を示す。
- 速やかに害虫の摂食活動を停止させ、長い残効性を示す。(灌注処理で約4週間、茎葉処理で約2週間効果が期待できる)
- 適用作物に対する安全性が高い。

## 【適用内容】(2016年6月22日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバ類	500	苗地床1m <sup>2</sup> 当り2L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は 1回以内、 散布は 3回以内)
	ネキリムシ類 カブラハバチ	100	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5L				
	コナガ、アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバ類 オオタバコガ	2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	コナガ、アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	100	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
はくさい	ハスモンヨトウ	2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ ネキリムシ類 ヨトウムシ ヒメフタテンヨコバイ	100	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
レタス	ハモグリバエ類	1000～2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ	2000					
非結球レタス	ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ	100	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内)
	ネキリムシ類 ヒメフタテンヨコバイ						
ブロッコリー	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ	2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの処理は 1回以内、 散布は 3回以内)
	ハイマダラノメイガ						
トマト	コナジラミ類	100	1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は 1回以内、 散布は 3回以内)
	ハモグリバエ類	200	1株当り50mL				
	ハモグリバエ類	1000～2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	オオタバコガ	2000					

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クワントラピ ロールを含む 農薬の 総使用回数
ミニトマト	コナジラミ類	100	1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回 以内、散布 は3回以内)
	ハモグリバエ類	200	1株当り50mL				
メロン	ハモグリバエ類	2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回以内
	オオタバコガ						
きゅうり	ハモグリバエ類	100～ 200	1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時まで の処理は 1回以内、 散布は 3回以内)
		200	1株当り50mL				
	ウリノメイガ	1000～ 2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	
なす	ハモグリバエ類	200	1株当り50mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	3回以内 (定植時まで の処理は 1回以内、 散布は 2回以内)
	ネキリムシ類 ハスモンヨトウ	100	1株当り25mL				
	ハモグリバエ類	1000～ 2000	100～300L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	2回以内
	オオタバコガ	2000					
いちご	ハスモンヨトウ						
非結球あぶ らな科葉菜 類(タアサイ を除く)	コナガ						
タアサイ	オオタバコガ	100	セル成型育苗トレイ1箱またはペ ーパーポット1冊(約30×60cm、使 用土壌約1.5～4L)当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回 以内、散布 は2回以内)
カリフラワー	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ	2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内 (灌注は1回 以内、散布 は3回以内)
だいこん	コナガ、アオムシ ヨトウムシ						
はつかだい こん	ハイマダラノメイガ カブラハバチ ハモグリバエ類				1回	1回	1回
かぶ	コナガ				3回 以内	3回 以内	3回以内
ねぎ	シロイチモジヨトウ ネギコガ ハモグリバエ類			収穫3日前 まで	3回 以内		4回以内 (灌注は1回 以内、散布 は3回以内)
	ハモグリバエ類	100	セル成型育苗トレイ1箱またはペ ーパーポット1冊(約30×60cm、使 用土壌約1.5～4L)当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシンクイガ ウコンノメイガ	4000	100～300L/10a	収穫3日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
だいず		16～32	0.8L/10a	収穫7日前 まで	2回 以内	無人ヘリパ ターによる 散布	2回以内
未成熟そら まめ	ハモグリバエ類	1000～ 2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回以内
さやいんげん 実えんどう さやえんどう	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2000					
やまのいも	ナガイモコガ						
さといも	ハスモンヨトウ	2000～ 4000					
かんしょ	ナカジロシタバ						
ごま	オオタバコガ	2000					

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クワントラニプロールを含む農薬の総使用回数	
とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ	2000	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
アスパラガス ほうれんそう	ハスモンヨトウ							
とうがらし類	オオタバコガ ハスモンヨトウ	1000～2000	1株当たり25mL	育苗期後半～定植当日	2回以内	3回以内 (灌注は1回以内、散布は2回以内)		
ピーマン	コナジラミ類 ハスモンヨトウ							
あずっこ	アオムシ	100	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5L	1回	1回	1回		
はなっこりー								
なばな	アオムシ ハスモンヨトウ	2000	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (灌注は1回以内、散布は2回以内)	
ズッキーニ らっきょう	ハモグリバエ類	1000			3回以内		4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内)	
ふき	ハスモンヨトウ				収穫3日前まで		3回以内	
パセリ		収穫7日前まで			1回		1回	
すいか	オオタバコガ ハモグリバエ類	2000			収穫前日まで		3回以内	3回以内
クレスン (土耕栽培)	コナガ				収穫3日前まで		2回以内	2回以内
モロヘイヤ	ハスモンヨトウ	2000			収穫前日まで		2回以内	3回以内
えごま(葉)					収穫3日前まで		3回以内	
バジル とうがん しそ					収穫前日まで			
オクラ							オオタバコガ	
しょうが	ハスモンヨトウ	100～180L/10a			収穫10日前まで		2回以内	2回以内
アマランサス(茎葉)	シロオビノメイガ							
たばこ	ヨトウムシ							

#### 【効果・薬害等の注意】

- 使用前によく振ってから使用すること。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節すること。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
  - ◆ 散布は散布機種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせで使用すること。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないこと。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理すること。洗浄水はタンクに入れること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめで使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないように注意すること。
- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ❖ 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- ❖ 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。